

フォーミュラリ（静注鉄剤）

入院

第一選択薬

フェジン静注40 mg

第二選択薬

モノヴァー静注500 mg

輸血の必要はない貧血患者
（ヘモグロビン 10 g/dL未満）

外来

第一選択薬（患者の外来受診状況にあわせて薬剤を選択すること）

フェジン静注40 mg

モノヴァー静注500 mg

■補足事項

1. 経口鉄剤の投与が困難又は不適當な場合に限り使用すること
2. 過量にならないよう、総鉄投与量（投与回数）に注意すること
3. 鉄過剰を来す恐れがあるため、鉄欠乏状態にない患者には投与しないこと
4. 低リン血症の発現に注意すること

<鉄欠乏貧血と貧血のない鉄欠乏の診断基準¹⁾（ヘモグロビンは成人女性の基準値）>

診断	ヘモグロビン [g/dL]	総鉄結合能（TIBC） [μg/dL]	血清フェリチン [ng/mL]
鉄欠乏性貧血	<12	≥360	<12
貧血のない鉄欠乏 （貯蔵鉄が枯渇しているが貧血は生じていない状態）	≥12	≥360 or <360	<12
正常	≥12	<360	≥12

1) 鉄欠乏性貧血の診療指針（日本鉄バイオサイエンス学会）参照